



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月6日

上場会社名 国際計測器株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7722 URL http://www.kokusaikk.co.jp
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松本 博司
 問合せ先責任者(役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 松本 進一 (TEL) 042-371-4211
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月8日 配当支払開始予定日 平成29年12月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日~平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	5,085	△1.6	591	133.7	576	532.4	369	—
29年3月期第2四半期	5,167	△32.8	253	△82.3	91	△93.6	16	△98.2

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 535百万円(—%) 29年3月期第2四半期 △344百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	26.38	—
29年3月期第2四半期	1.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	15,740	10,233	64.4
29年3月期	16,448	9,838	59.3

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 10,149百万円 29年3月期 9,757百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	20.00	—	10.00	30.00
30年3月期	—	15.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日~平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,000	8.2	1,400	45.8	1,400	46.3	850	55.1	60.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 - 社(社名) - 、除外 - 社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	14,200,000株	29年3月期	14,200,000株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	184,574株	29年3月期	184,574株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	14,015,426株	29年3月期2Q	14,015,426株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.5「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
3. 補足情報	12
生産、受注及び販売の状況	12

※ 当社は、以下のとおり説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

・平成29年11月29日（水）……機関投資家・アナリスト向け決算説明会

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く経営環境は、企業収益や雇用・所得環境の改善により、緩やかな回復基調にあります。地政学リスクの高まり等により、先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが主力取引先としている中国及び東南アジアの自動車及びタイヤ業界の設備投資につきましては、当第2四半期連結累計期間において、増加傾向で推移しております。また、国内自動車関連メーカーの設備投資につきましては、依然として低燃費エンジンや燃料電池・電気自動車等、環境や省エネに配慮した研究開発分野への設備投資が集中しております。

このような状況のもと、当社グループは、生産ライン用の試験装置であるバランスングマシンと共に、研究開発用の各種電気サーボモータ式振動試験機の営業活動を、国内はもとより韓国・中国をはじめとするアジアを中心に積極的に展開いたしました。当第2四半期連結累計期間につきましては、中国をはじめとするアジアのタイヤメーカーからの生産ライン用タイヤ関連試験機や国内の自動車部品メーカーからの電気サーボモータ式振動試験機を中心に受注を獲得いたしました。

売上高につきましては、アジア向けバランスングマシンの出荷・検収が増加しましたが、中国・米国向けのタイヤ関連試験機などのバランスングマシンの出荷・検収が減少し、前年同四半期と比較して減少しております。

利益面につきましては、売上総利益が増加したことや為替差損から為替差益に転じたことから、前年同四半期と比較して増加しております。

受注高	62億7千9百万円	(前年同四半期比15.5%増)
売上高	50億8千5百万円	(前年同四半期比1.6%減)
営業利益	5億9千1百万円	(前年同四半期比133.7%増)
経常利益	5億7千6百万円	(前年同四半期比532.4%増)
親会社株主に帰属 する四半期純利益	3億6千9百万円	(前年同四半期は1千6百万円の利益)

セグメントの状況は以下のとおりであります。

〔日本（国際計測器株式会社）〕

中国・米国向けのタイヤ関連試験機の出荷・検収が減少したものの、アジア向けバランスングマシンの出荷・検収が増加いたしました。また、増収により売上総利益が増加したことや、子会社からの受取配当金が増加したことにより増益となりました。

その結果、売上高は増加し、経常利益は前年同四半期と比較して増加いたしました。

売上高	41億5千9百万円	（前年同四半期比7.2%増）
経常利益	8億9千7百万円	（前年同四半期比365.5%増）

〔日本（東伸工業株式会社）〕

原子力業界からのクリープ試験装置や腐食環境・強度試験装置などの受注は増加し、材料試験機の出荷・検収が増加いたしました。

その結果、売上高は増加し、経常損失は前年同四半期と比較して減少いたしました。

売上高	2億3千6百万円	（前年同四半期比40.2%増）
経常損失	3千4百万円	（前年同四半期は1億5千8百万円の損失）

〔米国〕

日系の自動車部品メーカーへの電気サーボモータ式振動試験機の出荷は増加したものの、主力製品であるバランスングマシンは、日系の大手自動車メーカーやタイヤメーカーへの出荷及び米国の自動車部品メーカーへの出荷が減少いたしました。

その結果、売上高は減少し、経常損失は前年同四半期と比較して増加いたしました。

売上高	3億8百万円	（前年同四半期比51.3%減）
経常損失	1億2千7百万円	（前年同四半期は3百万円の損失）

〔韓国〕

韓国の自動車部品メーカーへの電気サーボモータ式振動試験機の出荷・検収が大幅に減少いたしました。

その結果、売上高は減少し、経常利益は前年同四半期と比較して減少いたしました。

売上高	6億1千万円	（前年同四半期比34.4%減）
経常利益	7千4百万円	（前年同四半期比54.9%減）

〔中国〕

中国国内のタイヤメーカーへのタイヤ関連試験機の出荷が減少したものの、モータ関連メーカーへのバランスングマシンの出荷は増加いたしました。

その結果、売上高は増加し、経常利益は前年同四半期と比較して増加いたしました。

売上高	4億2千1百万円	（前年同四半期比49.6%増）
経常利益	6千2百万円	（前年同四半期比132.9%増）

(2) 財政状態に関する説明

①流動資産

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、103億6百万円（前連結会計年度末比8億7千2百万円減）となりました。これは、売上債権の回収により現金及び預金が増加（前連結会計年度末比3億9千8百万円増）したことや、当第3四半期以降に出荷を予定している仕掛品が増加（前連結会計年度末比1億2千2百万円増）したものの、売上債権の回収により受取手形及び売掛金が減少（前連結会計年度末比13億3千2百万円減）したことが主たる要因であります。

②固定資産

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、54億3千4百万円（前連結会計年度末比1億6千5百万円増）となりました。これは、退任した役員に対する保険積立金を取り崩したことにより保険積立金が減少（前連結会計年度末比1億7百万円減）したものの、株価の上昇により投資有価証券が増加（前連結会計年度末比3億1千3百万円増）したことが主たる要因であります。

③流動負債

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、41億2千8百万円（前連結会計年度末比10億9千5百万円減）となりました。これは、約定返済により短期借入金が減少（前連結会計年度末比3億5千万円減）したことや、売上の計上により前受金が減少（前連結会計年度末比2億3千5百万円減）したこと、仕入の減少により支払手形及び買掛金が減少（前連結会計年度末比1億2千6百万円減）したこと並びに法人税等の納付などにより未払法人税等が減少（前連結会計年度末比1億1千6百万円減）したことが主たる要因であります。

④固定負債

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、13億7千8百万円（前連結会計年度末比6百万円減）となりました。これは、保有している株式の時価の上昇により繰延税金負債が増加（前連結会計年度末比9千4百万円増）したものの、1年内返済予定の長期借入金に振り替えたことにより長期借入金が減少（前連結会計年度末比5千6百万円減）したことや、退任した役員の退職慰労金を支給したことなどにより役員退職慰労引当金が減少（前連結会計年度末比5千3百万円減）したことが主たる要因であります。

⑤純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、102億3千3百万円（前連結会計年度末比3億9千4百万円増）となりました。これは、為替換算調整勘定が減少（前連結会計年度末比5千5百万円減）したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したことなどにより利益剰余金が増加（前連結会計年度末比2億2千9百万円増）したことや、株価の上昇によりその他有価証券評価差額金が増加（前連結会計年度末比2億1千7百万円増）したことが主たる要因であります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローについては、営業活動により10億1千1百万円、投資活動により4百万円増加し、財務活動により6億3千6百万円減少した結果、現金及び現金同等物は前第2四半期連結累計期間に比べ1億8千2百万円減少し、28億1千4百万円となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、10億1千1百万円の収入（前年同四半期比1億8千7百万円の収入増加）となりました。これは、法人税等の支払額が3億2千2百万円あったものの、売上債権の回収により売上債権が13億1千7百万円減少したことや、税金等調整前四半期純利益を5億7千6百万円計上したことなどによるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、4百万円の収入（前年同四半期は1億8百万円の支出）となりました。これは資金運用のために定期預金の預入による支出が1億5千3百万円あったものの、退任した役員に対する保険積立金を取り崩したことによる収入が1億5千4百万円あったことや、定期預金の満期が到来したことにより定期預金の払戻による収入が1億1千4百万円あったことなどによるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、6億3千6百万円の支出（前年同四半期比4千1百万円の支出増加）となりました。これは、短期借入金が純額で3億5千万円減少したことや、長期借入金の返済による2億4千6百万円の支出があったこと並びに配当金を1億4千万円支払ったことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月15日に公表いたしました平成30年3月期の連結業績予想につきましては、変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,110,151	4,508,541
受取手形及び売掛金	3,838,853	2,506,577
商品及び製品	320,244	353,943
仕掛品	1,881,064	2,003,127
原材料及び貯蔵品	601,582	574,237
繰延税金資産	200,885	203,005
その他	232,648	163,158
貸倒引当金	△6,507	△6,408
流動資産合計	11,178,922	10,306,183
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,456,580	2,460,681
機械装置及び運搬具	231,136	231,294
土地	1,308,500	1,307,688
リース資産	3,036	3,036
その他	209,730	223,897
減価償却累計額	△1,439,736	△1,490,155
有形固定資産合計	2,769,248	2,736,442
無形固定資産		
その他	52,641	51,885
無形固定資産合計	52,641	51,885
投資その他の資産		
投資有価証券	360,045	673,274
長期貸付金	11,487	14,581
繰延税金資産	186	493
保険積立金	1,864,280	1,756,747
その他	344,909	319,400
貸倒引当金	△133,338	△118,186
投資その他の資産合計	2,447,571	2,646,310
固定資産合計	5,269,462	5,434,637
資産合計	16,448,384	15,740,821

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,805,321	1,679,024
短期借入金	1,090,000	740,000
1年内返済予定の長期借入金	354,774	265,480
リース債務	896	298
未払法人税等	314,632	198,603
賞与引当金	124,490	154,412
製品保証引当金	131,267	125,760
前受金	886,909	651,891
その他	515,858	312,774
流動負債合計	5,224,149	4,128,247
固定負債		
長期借入金	763,264	706,394
繰延税金負債	205,539	300,206
役員退職慰労引当金	182,783	128,936
退職給付に係る負債	222,504	231,842
資産除去債務	11,455	11,574
固定負債合計	1,385,546	1,378,954
負債合計	6,609,696	5,507,201
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,023,100	1,023,100
資本剰余金	936,400	936,400
利益剰余金	7,612,986	7,842,623
自己株式	△150,994	△150,994
株主資本合計	9,421,491	9,651,128
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	210,949	428,225
為替換算調整勘定	125,307	70,116
その他の包括利益累計額合計	336,256	498,342
非支配株主持分	80,940	84,149
純資産合計	9,838,688	10,233,620
負債純資産合計	16,448,384	15,740,821

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	5,167,853	5,085,904
売上原価	3,482,822	3,213,092
売上総利益	1,685,031	1,872,811
販売費及び一般管理費		
製品保証引当金繰入額	81,116	49,143
役員報酬	99,500	81,607
給料手当及び賞与	350,189	325,872
賞与引当金繰入額	47,149	57,494
退職給付費用	14,451	14,095
役員退職慰労引当金繰入額	5,040	4,507
運賃	137,284	136,588
減価償却費	17,599	16,267
研究開発費	19,352	23,503
その他	660,153	571,892
販売費及び一般管理費合計	1,431,837	1,280,972
営業利益	253,193	591,839
営業外収益		
受取利息及び配当金	22,725	20,643
為替差益	—	8,645
貸倒引当金戻入額	27,082	15,282
その他	11,457	11,366
営業外収益合計	61,265	55,938
営業外費用		
支払利息	8,471	5,944
売上債権売却損	3,173	3,402
支払手数料	2,125	18,125
為替差損	200,761	—
保険解約損	5,070	43,154
その他	3,619	162
営業外費用合計	223,221	70,789
経常利益	91,238	576,988
税金等調整前四半期純利益	91,238	576,988
法人税、住民税及び事業税	58,751	211,277
法人税等調整額	8,145	△6,004
法人税等合計	66,896	205,273
四半期純利益	24,341	371,714
非支配株主に帰属する四半期純利益	7,981	1,923
親会社株主に帰属する四半期純利益	16,360	369,790

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	24,341	371,714
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	24,322	217,276
為替換算調整勘定	△390,521	△53,905
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,734	—
その他の包括利益合計	△368,933	163,370
四半期包括利益	△344,591	535,085
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△343,781	531,876
非支配株主に係る四半期包括利益	△810	3,209

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	91,238	576,988
減価償却費	59,999	56,224
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△26,653	△15,351
賞与引当金の増減額(△は減少)	△15,031	30,066
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△12,806	△4,932
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△5,620	9,355
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	5,040	△53,847
受取利息及び受取配当金	△22,725	△20,643
支払利息	8,471	5,944
為替差損益(△は益)	122,839	△12,061
売上債権の増減額(△は増加)	1,485,096	1,317,223
たな卸資産の増減額(△は増加)	△876	△138,497
仕入債務の増減額(△は減少)	△218,009	△124,320
前受金の増減額(△は減少)	△200,126	△230,260
その他	△27,010	△68,465
小計	1,243,824	1,327,422
利息及び配当金の受取額	16,646	13,026
利息の支払額	△8,436	△6,046
法人税等の支払額	△427,717	△322,598
営業活動によるキャッシュ・フロー	824,316	1,011,803
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△141,128	△153,607
定期預金の払戻による収入	62,350	114,900
有形固定資産の取得による支出	△19,219	△21,192
保険積立金の積立による支出	△88,654	△90,272
保険積立金の解約による収入	69,598	154,651
その他	8,423	△177
投資活動によるキャッシュ・フロー	△108,630	4,301
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△30,000	△350,000
長期借入れによる収入	150,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△225,804	△246,164
配当金の支払額	△489,171	△140,148
リース債務の返済による支出	△597	△597
財務活動によるキャッシュ・フロー	△595,573	△636,910
現金及び現金同等物に係る換算差額	△312,015	△12,893
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△191,902	366,300
現金及び現金同等物の期首残高	3,188,780	2,447,874
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,996,877	2,814,175

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	日本		米国	韓国	中国	計		
	国際計測器 株式会社	東伸工業 株式会社						
売上高								
外部顧客への 売上高	3,620,830	168,552	626,682	516,131	208,153	5,140,350	27,503	5,167,853
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	257,202	—	6,785	414,086	73,634	751,707	41,506	793,213
計	3,878,033	168,552	633,467	930,217	281,787	5,892,058	69,009	5,961,067
セグメント利益 又は損失(△)	192,820	△158,186	△3,341	164,089	26,654	222,037	28,645	250,682

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、東南アジア及びヨーロッパ等の現地法人を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	222,037
「その他」の区分の利益	28,645
セグメント間取引消去等(注)	△159,444
四半期連結損益計算書の経常利益	91,238

(注) セグメント間取引消去等には、セグメント間の受取配当金が147,598千円含まれております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	日本		米国	韓国	中国	計		
	国際計測器株式会社	東伸工業株式会社						
売上高								
外部顧客への売上高	3,880,335	236,364	306,410	359,215	292,019	5,074,345	11,559	5,085,904
セグメント間の内部売上高又は振替高	278,761	—	1,823	251,323	129,551	661,459	39,944	701,404
計	4,159,097	236,364	308,233	610,538	421,570	5,735,804	51,504	5,787,308
セグメント利益又は損失(△)	897,602	△34,244	△127,562	74,040	62,064	871,900	10,886	882,786

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、東南アジア及びヨーロッパ等の現地法人を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	871,900
「その他」の区分の利益	10,886
セグメント間取引消去等(注)	△305,798
四半期連結損益計算書の経常利益	576,988

(注) セグメント間取引消去等には、セグメント間の受取配当金が334,227千円含まれております。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第2四半期連結累計期間（自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日）

区 分	生産高(千円)	前年同四半期比(%)	セグメントとの関連
バランスिंगマシン	3,392,527	△0.7	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式振動試験機	598,642	△27.2	日本(国際), 韓国
材料試験機	236,364	+40.2	日本(東伸)
シャフト歪自動矯正機	269,275	△17.8	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
その他	589,099	+42.1	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合 計	5,085,907	△1.3	—

(注1) 金額は、販売価格によっております。

(注2) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(注3) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。

(2) 受注状況

①受注高

当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

区 分	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	セグメントとの関連
バランスिंगマシン	3,520,765	+16.8	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式振動試験機	1,392,637	+10.0	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
材料試験機	360,780	+39.9	日本(東伸)
シャフト歪自動矯正機	393,961	△14.1	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
その他	611,159	+39.2	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合 計	6,279,304	+15.5	—

(注1) 金額は、受注価格によっております。

(注2) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(注3) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。

②受注残高

当第2四半期連結累計期間末(平成29年9月30日)

区 分	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)	セグメントとの関連
バランスिंगマシン	5,348,849	+21.9	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式振動試験機	1,668,540	△7.0	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
材料試験機	293,904	+32.9	日本(東伸)
シャフト歪自動矯正機	686,040	+8.4	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
その他	48,069	△46.0	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合 計	8,045,404	+12.9	—

(注1) 金額は、受注価格によっております。

(注2) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(注3) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。

(3) 販売実績

当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

区 分	売上高(千円)	前年同四半期比(%)	セグメントとの関連
バランスिंगマシン	3,392,525	△1.2	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式振動試験機	598,641	△27.2	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
材料試験機	236,364	+40.2	日本(東伸)
シャフト歪自動矯正機	269,273	△17.8	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
その他	589,099	+42.1	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合 計	5,085,904	△1.6	—

(注1) 金額は、販売価格によっております。

(注2) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(注3) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。